

令和元年度

若手・中堅職員

政策提案プロジェクトチーム

活動記録

令和2年2月

1. 趣旨

弥富市は、令和元年度より計画期間 10 年となる第2次弥富市総合計画が始動し、「～地域でつくる「人・自然・文化」の調和 輝く未来へ繋ぐまち・弥富～」の実現を目指して施策展開を進めている。しかし、人口減少・少子高齢化の進展などにより本市を取り巻く環境は大きく変化している。

そこで、若手・中堅職員ならではの視点で、身近な地域課題等を解決するため、「若手・中堅職員政策提案プロジェクトチーム」を設立し、グループで考えながら、今後の弥富市への施策に対する提言等を行う。

2. 目的

- 組織横断的な課題の解決に向けた研究活動の展開
- 部署の垣根を越えて課題に取り組む『志高き人材』の発掘
- 若手・中堅職員の柔軟な発想や創意工夫の具体化、実現化
- 創造性を発揮できる若手・中堅職員の政策形成能力の育成

3. 今年度の目標

- 課題設定の重要性を理解する
- 政策形成の視点・発想を理解する
- EBPM（Evidence Based Policy Making）の重要性を理解する
※EBPMとは、政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化した上で、合理的根拠に基づくものとする。
- 政策形成の基本的なながれを学ぶ
- 情報収集のノウハウを習得する

これらを意識しながら、今年度は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関するテーマ「若者の定住促進」と「空き家対策」の2グループに分かれ、対策事業の検討・調査・研究を実施し、成果をまとめる。

最終的には、グループで提案した事業を市長、副市長、幹部職員及び関係部署へ発表し、効果的かつ実現可能な事業については、市として実施を検討していく。

4. 参加者

若手・中堅の一般行政職の職員（概ね入庁 20 年未満の職員）を対象に募集をかけ、集まったメンバー合計 14 名

【若者定住促進班】

葛西 博昭
志水 柚香
野田 菜月
増子 大殊
山田 裕
山本 亮翔
横井 理雄

【空き家対策班】

佐藤 嘉高
立本 奈々
中山 貴昌
萩木場 大樹
林 茉莉
村尾 榛華
山田 元氣

5. コーディネーター

名古屋市立大学大学院
人間文化研究科・人文社会学部

三浦 哲司（みうら さとし）准教授



6. 日程及び内容

**事前
研修**

令和元年 9 月 9 日（月）、10 日（火） 17:20~18:00

・ **地方創生に関する説明** 総務部企画政策課

・ **空き家に関する説明** 開発部都市計画課

第1回

令和元年9月13日（金） 18:30~20:30

1. 政策形成に関する概説 三浦准教授

- ・自治体を取り巻く状況と「空き家問題」「定住促進」について
- ・政策形成のながれやポイント

2. グループワーク（課題設定）

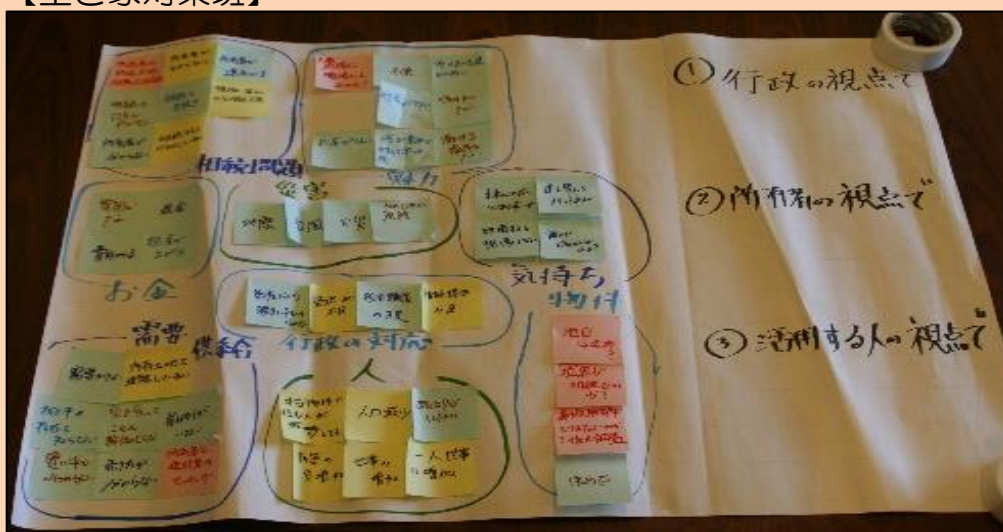
- ①テーマに関する課題の書き出し
- ②書き出し課題の発表、類型化
- ③特に取り上げる課題の絞り込み



【若者定住促進班】



【空き家対策班】



3. その他

- ・グループワークの内容を発表
- ・情報収集方法の紹介

第2回

令和元年 10月18日（金） 18:30~20:30

1. グループワーク（課題・対象掘り下げ）

- ①現在のままでは〇〇のような状況を招いてしまう
- ②結果として、〇〇のような悪影響が生じる可能性あり
- ③それによって〇〇の人が困ってしまう
- ④今のうちから〇〇の対策を進めるべきだ
- ⑤行政は〇〇をターゲットに設定して対策を進めるべき
- ⑥そのターゲットを切り分けると、〇〇まで細分化できる
- ⑦「ターゲットの選好/空き家の属性」を掘り下げると

【若者定住促進班】

現状と今後の方向性の再整理

チーム名: 若者定住促進班

現在のままでは〇〇のような状況を招いてしまう

結果として、〇〇のような悪影響が生じる可能性あり

それによって〇〇の人が困ってしまう

今のうちから〇〇の対策を進めるべきだ

行政は〇〇をターゲットに設定して対策を進めるべき

ターゲットの選好/空き家の属性を掘り下げると

ターゲット: 若者、子育て世代、子育て世帯

空き家の属性: 子育て世代、子育て世帯

ターゲットと対象の掘り下げ

チーム名: フニックス

そのターゲットを切り分けると〇〇まで細分化できる

アプローチするターゲットとその理由は

「ターゲットの選好/空き家の属性」を掘り下げると

「可能な限り」目標を設定する際のポイントは

「可能な限り」今の時点で目標を設定できる場合何になるか

ターゲット: 仕事、子育て

空き家の属性: 子育て世代、子育て世帯

【空き家対策班】

現状と今後の方向性の再整理

チーム名: 空き家対策班

現在のままでは〇〇のような状況を招いてしまう

結果として、〇〇のような悪影響が生じる可能性あり

それによって〇〇の人が困ってしまう

今のうちから〇〇の対策を進めるべきだ

行政は〇〇をターゲットに設定して対策を進めるべき

ターゲットの選好/空き家の属性を掘り下げると

ターゲット: 空き家、空き家対策

空き家の属性: 空き家、空き家対策

ターゲットと対象の掘り下げ

チーム名: 空き家対策班

そのターゲットを切り分けると〇〇まで細分化できる

アプローチするターゲットとその理由は

「ターゲットの選好/空き家の属性」を掘り下げると

「可能な限り」目標を設定する際のポイントは

「可能な限り」今の時点で目標を設定できる場合何になるか

ターゲット: 空き家、空き家対策

空き家の属性: 空き家、空き家対策

2. その他

- ・グループワークの内容を発表



令和元年 11 月 15 日（金） 18：30～20：30

1. グループワーク（解決に至るまでのストーリーを検討）

- ①課題設定 ②現状(問題状況を含む)の把握 ③課題の掘り下げ
④解決の方向性(ターゲット、目標値、5W2H、関係法令)
⑤各種データによる各部分の客観的な裏付けの設定

【若者定住促進班】

[illegible]

第3回ワークシート②

解決策の大枠と今後の作業

チーム名

対象(人など)の切り分けと主ターゲット	【切り分ける人、数(何)】が主たるターゲットとなる人】 子育て世帯	指導ターゲットの範囲
その対象をターゲットにする理由は	【あえてそのターゲットに集約されているのはなぜ?】 家を買い前の最後の引越の機会があるから	
ターゲットには何か強み能力なのか	【自ら動ける人など、ターゲットにとって何の強みか(一環の強み)に集約する】 交通の便が良い/福祉サービスの充実 保育園の充実	
強み目標値はあるか、自ら設定するかどうか	【自ら設定し、2ヶ月間の目標値、5ヶ月間、6ヶ月間、7ヶ月間、8ヶ月間、9ヶ月間、10ヶ月間、11ヶ月間、12ヶ月間】 2040年まで60%をキープする	指導ターゲットの範囲と強み目標値の範囲
目標の達成に期待した数値の5W2H	【誰が、誰に、どこに、いつ、何を、なぜ、どのように、いつまで?】	
関係法令既存事業	【その達成のために関する法令、申請許可制、申請不要制】	
今後の作業	【その達成のために必要な作業、申請許可制、申請不要制】	

【空き家対策班】

① 富市職員提案 P J 第 3 回ワークショップ			
状況把握 → 課題定義 → 方向性			
チーム名			
状況把握 ※ 問題テーマを もっている前提 (人口調査、この年代の 結婚率・社会保険、 いっの傾向に比較して、 どう変化したか、など)	結婚率 年齢別 ↑	異なる。婚姻率の低下が顕著で、10代・20代に1.1倍という低減率。女性<男性	結婚率の低下 結婚率の増加 女性の増加
	未婚率 10 44.00% 6.79% 1974年 1974年 1974年	結婚率 1974年 1974年 1974年	
	「この傾向を把握し、結婚率の低下、未婚率の増加が問題が生じている(根本原因など)」		
	1.0 2000% 38.47%	結婚率 1974年 1974年 1974年	
	「結婚率の低下が顕著で、未婚率の増加が問題が生じている(根本原因など)」		
課題定義 ※ 今、問題の核心(課題)は は何か、何によって起るのか (上記の現象が原因で?)	結婚率 1974年 1974年 1974年	結婚率 1974年 1974年 1974年	結婚率の低下 結婚率の増加
	結婚率 1974年 1974年 1974年	結婚率 1974年 1974年 1974年	
	「結婚率の低下が顕著で、未婚率の増加が問題が生じている(根本原因など)」		
	結婚率 1974年 1974年 1974年	結婚率 1974年 1974年 1974年	
	「結婚率の低下が顕著で、未婚率の増加が問題が生じている(根本原因など)」		
方向性 ※ 問題解決に むけた今後の 大きな方向性	結婚率 1974年 1974年 1974年	結婚率 1974年 1974年 1974年	結婚率の低下 結婚率の増加
	結婚率 1974年 1974年 1974年	結婚率 1974年 1974年 1974年	
	「結婚率の低下が顕著で、未婚率の増加が問題が生じている(根本原因など)」		
	結婚率 1974年 1974年 1974年	結婚率 1974年 1974年 1974年	
	「結婚率の低下が顕著で、未婚率の増加が問題が生じている(根本原因など)」		

第3回ワークシート②	
解決策の大枠と今後の作業	
	チーム名 _____
対象(人など)の切り分けと主ターゲット	[どの辺りかと、彼(她)がどんなターゲットになるか?] <i>起業家 学生 弟子</i> <i>会社内 (経理部) 飲食店 小売店</i>
その対象をターゲットにする理由は	[あるとそのターゲットに商品を提供する理由はあるか?] <i>口舌便利 かき? 既知? 酒場? (必要) あいづつ? かみ?</i>
ターゲットには何か強み能力なのか	[何故なら分かる。ターゲットはとって何が市場への優位性にあるのか?] <i>既知? 容易? 営業10年? 経営経験 S-68? 10年以上?</i>
既に目標値はあるか、自ら設定するとうなるか	[いくらまでに、どれだけの量で、いつまで、など] <i>稼い</i>
目標の達成に向けた取組の5W2H	[誰が、どこで、いつか、何を、なぜ、どのように、やるのか?]
関係法事	[上記の内容に、関与する方、関係者の集まり]
今後の作業	[この段階先までに必要な作業、今後報告内容、必要な作業等]

2. その他

- ・グループワークの内容を発表

第4回

令和元年 12 月 20 日（金） 18：30～20：30

1. 中間報告の振り返り

2. グループワーク（最終報告に向けてのまとめ）

- ①課題設定 ②現状把握
- ③課題定義 ④解決の方向性
- ⑤ターゲットの選定 ⑥目標値、目標期間
- ⑦目標達成に向けた取組 ⑧他市事例 ⑨今後の検討事項

【若者定住促進班】

弥富市職員提案P J 最終報告ワークシート 課題設定→現状把握→課題定義

チーム名		
① 課題設定	【テーマとして扱う課題の範囲】 若者の減少と高齢者の増加により、税収などによる歳入が減少し扶助などの歳出は増加となる。結果財政難を招き、住民サービスが低下する。そのため、子育て世帯を対象に定住者を増やす必要がある。 【現状把握事項として把握する範囲】（注）現状把握の範囲、最終ターゲットは「弥富市」である。 （60歳～74歳） 老年人口比率2015年→2040年で約7%増 （24歳～31歳） 扶養世帯の増加が見込まれる。具体的には、10年で8億円増（市の負担は約2億円増）	
② 現状把握	【現状把握について、本市ではどのような現状が、課題やその解決策の方向性に影響するか（注）】 【弥富市における転入超過】 男性：30～39歳 → 名古屋と近隣に転出 女性：20～29歳 → 名古屋と近隣に転出（結婚） 【弥富市における転入超過】 男性：20～29歳 → 就職時に転入超過となる	
③ 課題定義	【課題設定の範囲】（注） 【課題設定の範囲】（注） 【課題設定の範囲】（注）	

弥富市職員提案P J 最終報告ワークシート 解決の取組→他市事例→検討事項

チーム名		
④ 解決の方向性（大枠）	【課題解決に向けて、大枠としてどのような取組の方向性を定めるか】 【課題解決に向けて、大枠としてどのような取組の方向性を定めるか】	
⑤ 主なターゲット、その理由、ターゲットによっての本市の魅力	・ターゲット： ・選定の理由： ・本市の魅力：	
⑥ 目標値、目標期間	【目標達成に向けて、具体的な目標値、目標期間を定めるか（注）】	
⑦ 目標達成に向けた取組	【目標達成に向けて、具体的な取組を定めるか（注）】	
⑧ 他市での参考事例とその成果	【他市での参考事例とその成果を定めるか（注）】	
⑨ 今後の検討事項など	【今後の検討事項などを定めるか（注）】	



【空き家対策班】

弥富市職員提案P J 最終報告ワークシート 課題設定→現状把握→課題定義

チーム名		
① 課題設定	【テーマとして扱う課題の範囲】 平成25年度の住宅、土地統計調査で市の高齢世帯は18,210世帯で、それ以降も増加傾向だが、人口は横ばいとなっている。しかし、高齢者夫婦世帯や高齢者単身世帯は増加しており、2040年には高齢化率30%と予想されている。高齢者のみの暮らしは空き家のリスクであり、これらの世帯に空き家になる前に既住の空き家を活用する事例を作っておくことで、今後新たな空き家ができてから活用する人を見つかりやすくなるのではないか。 【現状把握事項として把握する範囲】（注）現状把握の範囲、最終ターゲットは「弥富市」である。 （60歳～74歳） 老年人口比率2015年→2040年で約7%増 （24歳～31歳） 扶養世帯の増加が見込まれる。具体的には、10年で8億円増（市の負担は約2億円増）	
② 現状把握	【現状把握について、本市ではどのような現状が、課題やその解決策の方向性に影響するか（注）】 【弥富市における転入超過】 男性：30～39歳 → 名古屋と近隣に転出 女性：20～29歳 → 名古屋と近隣に転出（結婚） 【弥富市における転入超過】 男性：20～29歳 → 就職時に転入超過となる	
③ 課題定義	【課題設定の範囲】（注） 【課題設定の範囲】（注） 【課題設定の範囲】（注）	

弥富市職員提案P J 最終報告ワークシート 解決の取組→他市事例→検討事項

チーム名		
④ 解決の方向性（大枠）	【課題解決に向けて、大枠としてどのような取組の方向性を定めるか】 【課題解決に向けて、大枠としてどのような取組の方向性を定めるか】	
⑤ 主なターゲット、その理由、ターゲットによっての本市の魅力	・ターゲット： ・選定の理由： ・本市の魅力：	
⑥ 目標値、目標期間	【目標達成に向けて、具体的な目標値、目標期間を定めるか（注）】	
⑦ 目標達成に向けた取組	【目標達成に向けて、具体的な取組を定めるか（注）】	
⑧ 他市での参考事例とその成果	【他市での参考事例とその成果を定めるか（注）】	
⑨ 今後の検討事項など	【今後の検討事項などを定めるか（注）】	

最終 報告会

令和2年1月17日（金） 10:30~11:30

1. 各班より最終報告

- ・これまでの成果を市幹部へ報告

【若者定住促進班】

子育て支援の取り組みについて「情報発信の強化」を図る

施策①「子育てポータルサイトの強化」

既存の子育てポータルサイトを、よりわかりやすく市内外向けのサイトにリニューアルし、子育ての情報はもちろんのこと、弥富市の魅力も併せて発信する

施策②「子育て支援アプリの作成」

子供の情報を登録し、予防接種などの個別情報をプッシュ通知で受け取ることができる

施策③「LINE 公式アカウントの作成」

欲しい情報を選択することができ、手軽に役立つ情報を受け取ることができる

施策④「パパママ教室の充実」

平日での開催ではパパの参加が難しいため、土日開催し参加を促す



最終 報告会

【空き家対策班】

起業家にターゲットを絞り、JR・名鉄弥富駅周辺の空き家を
事業所として活用してもらう

⇒利害関係者の交流の場の提供、情報発信の強化を図る

施策①「空き家起業家カフェ」

弥富市の空き家を利活用した企業に興味がある人を公募し、新庁舎6階の市民協働スペースにて起業家相談会を開催。実施にあたっては、市と起業家だけではなく、商工会（市内事業者）及び地域住民を巻き込んだワークショップ型での実施を想定。

施策②「やとみ起業家広報倶楽部」

弥富市ホームページや広報やとみに「空き家起業家カフェ」の活動や開催情報を掲載する。活動内容を地域住民に広く発信することで、空き家問題の周知・理解を深め、新たな空き家の発生の予防等に繋げる。



《集合写真》

